

JASDAQ

証券コード：5742

第37期 事業報告書

平成19年4月1日から平成20年3月31日まで



雨晴海岸から見る雪景色の立山連峰

おかげさまで創業80周年

SINCE 1927



エヌアイシ・オートテック株式会社

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

第37期（平成19年4月1日から平成20年3月31日まで）の事業の概況及び決算につきまして以下のとおりご報告申し上げます。

当事業年度におけるわが国の経済は、原油価格の高騰やサブプライムローン問題を背景とした米国経済の先行き不透明感の影響、更には消費財の値上がり等により、緩やかな景気拡大基調にも力強さに欠けた状況となりました。

このような状況のもと、当社の業績は前事業年度から引続き自動車部品の製造関連企業より大型機械設備投資案件を受注したこと、またデジタル家電関連企業並びにフラットパネルディスプレイ（以下、「FPD」という。）製造設備企業からの継続的な受注を確保したことにより、大幅に伸長いたしました。

この結果、当事業年度の売上高は10,433百万円（前期比49.0%増）、営業利益は463百万円（前期比8.7%増）、経常利益は475百万円（前期比12.1%増）、当期純利益は268百万円（前期比11.7%増）となりました。

各事業部門の売上構成

（単位：千円）

区 分	第36期		第37期		増 減	
	平成19年3月期		平成20年3月期		売上金額	前期比
	売上金額	構成比	売上金額	構成比		
アルファフレーム部門	1,991,882	28.4%	1,753,257	16.8%	△238,625	88.0%
装置部門	2,086,247	29.8%	2,003,907	19.2%	△82,340	96.1%
商事部門	2,923,439	41.8%	6,676,641	64.0%	3,753,201	228.4%
合計	7,001,569	100.0%	10,433,805	100.0%	3,432,235	149.0%

① アルファフレーム部門

当部門におきましては、家電製品関連業界からの大口案件や自動車関連業界からの需要が増加傾向にあったものの、前事業年度好調であった液晶関連業界からの大口案件の引き合いが一服する厳しい状況が続きました。

また競合他社との販売価格競争も厳しさを増している中、当社の特長である技術力を活かした設計支援等の提案営業を展開しながら、お客様の確保と拡大に努めてまいりました。

これらの結果、当部門の売上高は1,753百万円（前期比12.0%減）となりました。

なお、設計・製作の合理化及び省力化をトータルに実現する世界初の受発注・設計・組立支援ソフトを開発、それを活用したサポートサービス（商品名「カクチャ™」）を利用した拡販プロジェクトを立ち上げました。これにより、組立図面製作のスピードアップと更なるサービスの効率化を推進し、受注拡大に努めてまいります。

② 装置部門

当部門におきましては、前事業年度から継続受注しておりますF A装置(自動化装置/光ディスク製造用自動化装置)及びF P D製造装置用カスタムクリーンブースは、堅調に推移し、これらの売上高は当部門の売上高の約7割を占める結果となりました。

また、海外向けF P D製造装置用カスタムクリーンブースの大口受注案件の一部が平成21年3月期に持ち越されたことにより、当部門の売上高は2,003百万円(前期比3.9%減)となりました。

③ 商事部門

当部門におきましては、前事業年度より引続く設備投資の増加を背景に、自動車部品の製造関連企業向け大型機械設備(部品加工専用機及び当社製品の洗浄・搬送装置等)の大口案件を受注し、売上高は大幅に伸ばいたしました。

また、お客様の工場生産量も好調に推移し、工業用砥石や工具・ツール等の消耗品の受注も堅調に推移いたしました。

これらの結果、当部門の売上高は、6,676百万円(前期比128.4%増)となりました。

当社は、「株主に対する利益還元」を戦略上の重要な経営課題として認識しており、安定的な経営基盤の強化及び業容の充実に一層の努力を行って収益の拡大を図り、経営成績やキャッシュ・フローの状況を勘案して適切な配当を実施していくことを基本方針としております。

おかげさまで当事業年度におきましては、昨年4月に当社の前身である「西川鑪(やすり)製作所」創業(昭和2年)より80周年を迎えることができました。

また、当事業年度の業績につきましても順調に推移したことにより、平成20年2月に「創業80周年記念配当に関するお知らせ」を公表し、1株あたり150円の記念配当を実施させていただくことに配当予想を修正いたしました。

この結果、配当金は1株あたり850円に記念配当150円を加えた1,000円とさせていただきます。また、平成21年3月期におきましても、当事業年度と同様な配当水準となるよう計画しております。

株主優待につきましては、日頃の株主の皆様のご厚情に感謝し、引続きオリジナルデザインのクオカード1,000円券を1枚贈呈いたします。

当社は、地域社会の安全と環境を重視し、そのために当社独自の環境理念を掲げ、その実現に全社一丸となって邁進しております。また、新たな構造部材にも目を向け、技術革新にも積極的に対応し、市場ニーズに沿った研究開発を行い、業容の拡大を推進しております。そして、「アルファフレーム部門」、「装置部門」、「商事部門」の3つの事業部門を柱として、高付加価値技術の提供を目的とした事業展開を図り、社業の発展に尽くす所存であります。

株主の皆様には、今後とも尚一層のご支援を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

平成20年6月

代表取締役社長 西川 浩 司

本ページ及びこれに続く図表等は、当社の概況等を要約・作成したものであります。
 詳細は、本文の該当ページをご覧ください。

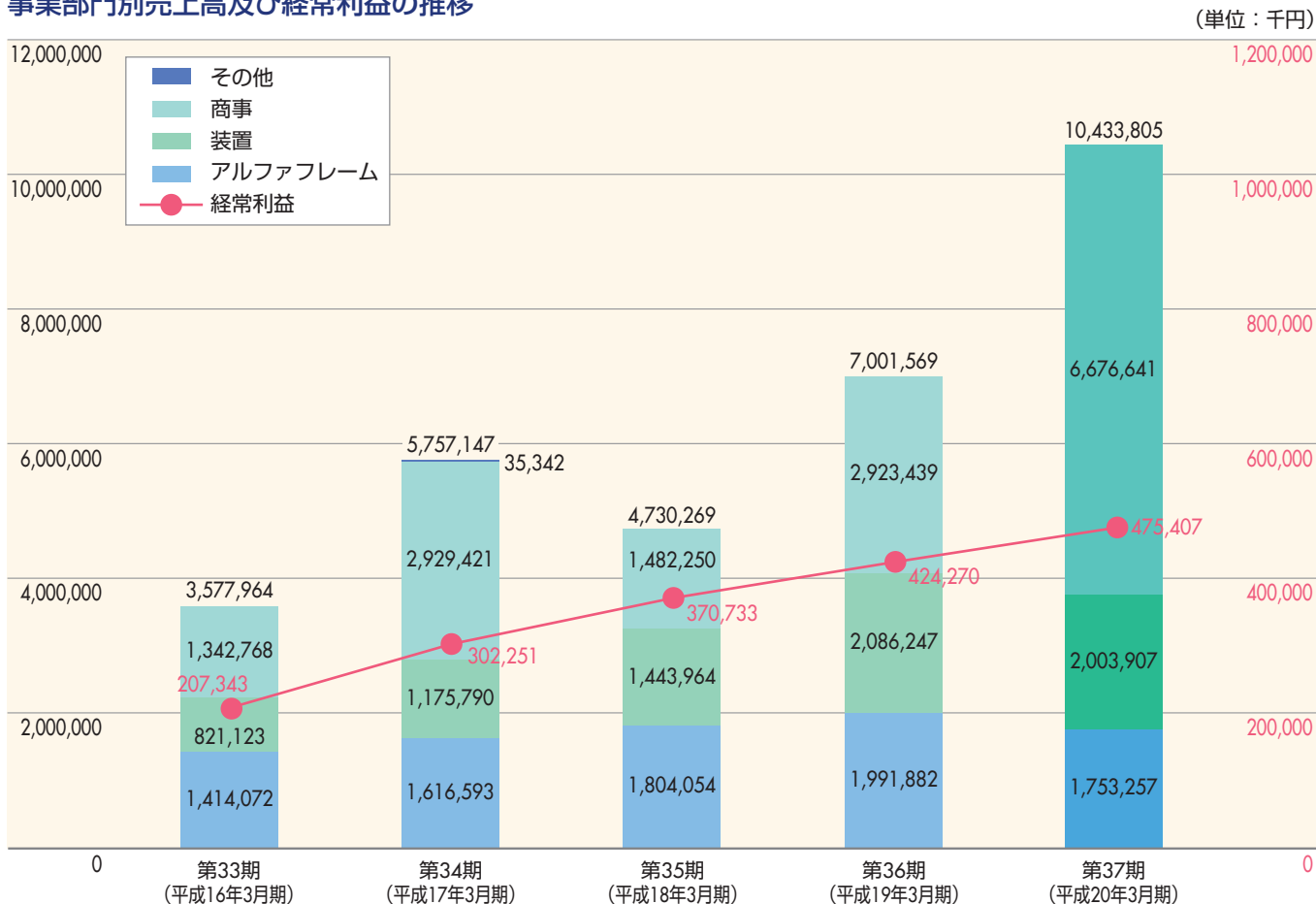
事業の概況

自動車部品の製造関連企業より大型機械設備投資案件を受注したこと、またデジタル家電関連企業及びFPD製造設備企業からの継続的な受注を確保したことにより、大幅に伸長いたしました。

一方、製造コストの削減に努めてまいりましたが、原材料価格（アルミニウム、ステンレス、樹脂製品等）の高騰が続いており、中でもアルミニウム地金価格の上昇は、一段落したものの高値で推移し、仕入コストの上昇傾向が続いております。

こうした状況のもと調達先の変更等による製造原価の抑制や、加工機械の導入による社内効率の向上を図ってまいりました。この結果、当事業年度の売上高は10,433百万円（2期連続の増収）、経常利益は475百万円（4期連続の増益）となり、過去最高を記録いたしました。

事業部門別売上高及び経常利益の推移



主要な経営指標等の推移

回次	第33期	第34期	第35期	第36期	第37期
決算年月	平成16年3月	平成17年3月	平成18年3月	平成19年3月	平成20年3月
売上高 (千円)	3,577,964	5,757,147	4,730,269	7,001,569	10,433,805
経常利益 (千円)	207,343	302,251	370,733	424,270	475,407
当期純利益 (千円)	129,405	157,254	221,929	239,885	268,016
持分法を適用した場合の投資利益 (千円)	—	—	—	—	—
資本金 (千円)	25,000	25,000	25,000	156,100	156,100
発行済株式総数 (株)	50,000	50,000	50,000	55,000	55,000
純資産額 (千円)	1,912,060	2,048,356	2,285,479	2,721,932	2,868,922
総資産額 (千円)	3,694,958	4,294,995	3,977,393	4,706,507	6,084,241
1株当たり純資産額 (円)	38,241.20	40,967.13	45,709.58	49,489.68	52,651.40
1株当たり配当額 (円) (内、1株当たり中間配当額)	750 (—)	750 (—)	750 (—)	850 (—)	1,000 (—)
1株当たり当期純利益 (円)	2,588.11	3,145.09	4,438.58	4,452.49	4,910.75
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益 (円)	—	—	—	—	—
自己資本比率 (%)	51.7	47.7	57.4	57.8	47.1
自己資本利益率 (%)	7.0	7.9	10.2	9.6	9.6
株価収益率 (倍)	—	—	—	18.2	7.2
配当性向 (%)	29.0	23.8	16.9	19.1	20.4
営業活動によるキャッシュ・フロー (千円)	245,808	143,906	77,543	453,698	1,018,820
投資活動によるキャッシュ・フロー (千円)	△13,894	△119,783	66,511	△73,552	△190,473
財務活動によるキャッシュ・フロー (千円)	△167,470	△179,770	△167,247	△251,621	△120,533
現金及び現金同等物の期末残高 (千円)	346,020	190,307	167,115	295,640	1,003,454
従業員数 (名) (外、平均臨時雇用者数)	105 [24]	118 [36]	121 [36]	140 [28]	143 [17]

(注) 1 当社は連結財務諸表を作成しておりませんので、連結会計年度に係る主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3 持分法を適用した場合の投資利益につきましては、関連会社がないため記載を省略しております。

4 平成20年3月期の1株当たり配当額1,000円には、創業80周年記念配当150円を含んでおります。

5 純資産額の算定にあたり、平成19年3月期から「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準」（企業会計基準第5号）及び「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準等の適用指針」（企業会計基準適用指針第8号）を適用しております。

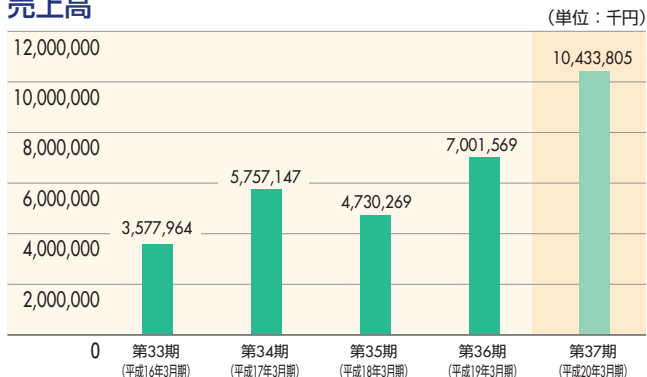
6 潜在株式調整後1株当たり当期純利益につきましては、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

7 平成18年3月期までの株価収益率は、当社株式が非上場であり、期中平均株価の把握が困難なため記載しておりません。

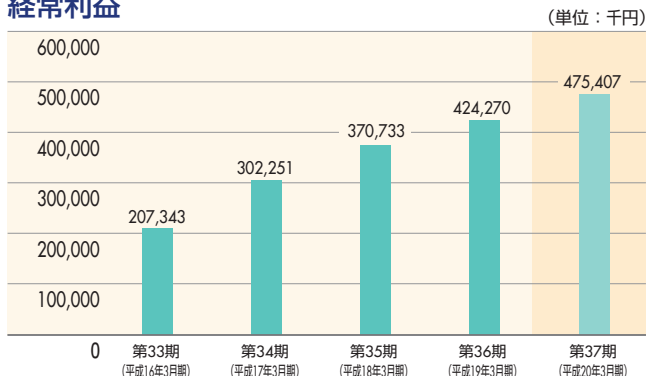
8 従業員数欄の(外書)は、臨時従業員の年間平均雇用人員(1日8時間換算)であります。

業績等の推移 ②

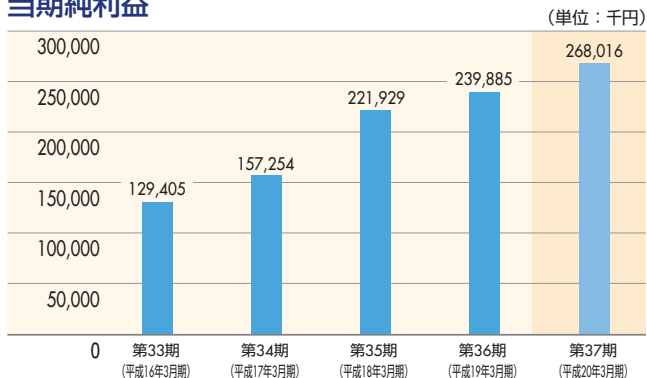
売上高



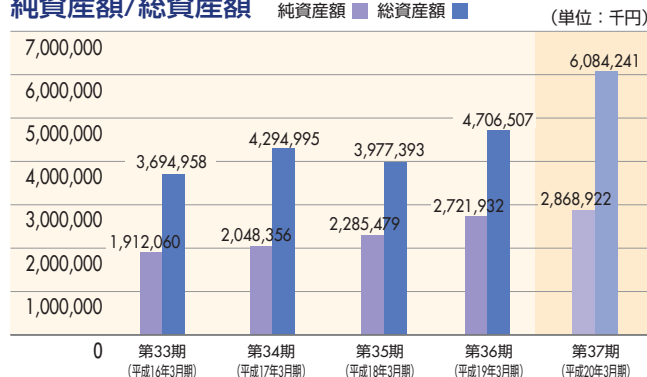
経常利益



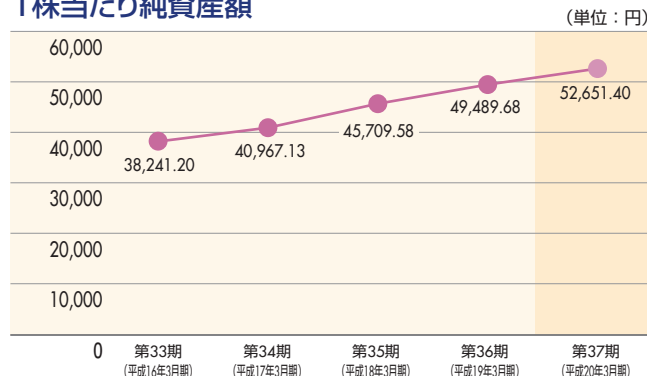
当期純利益



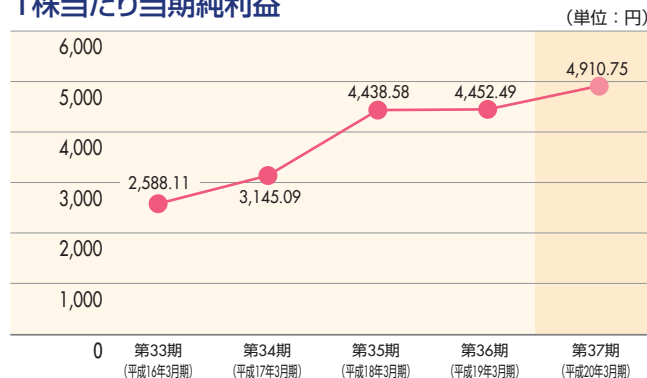
純資産額/総資産額



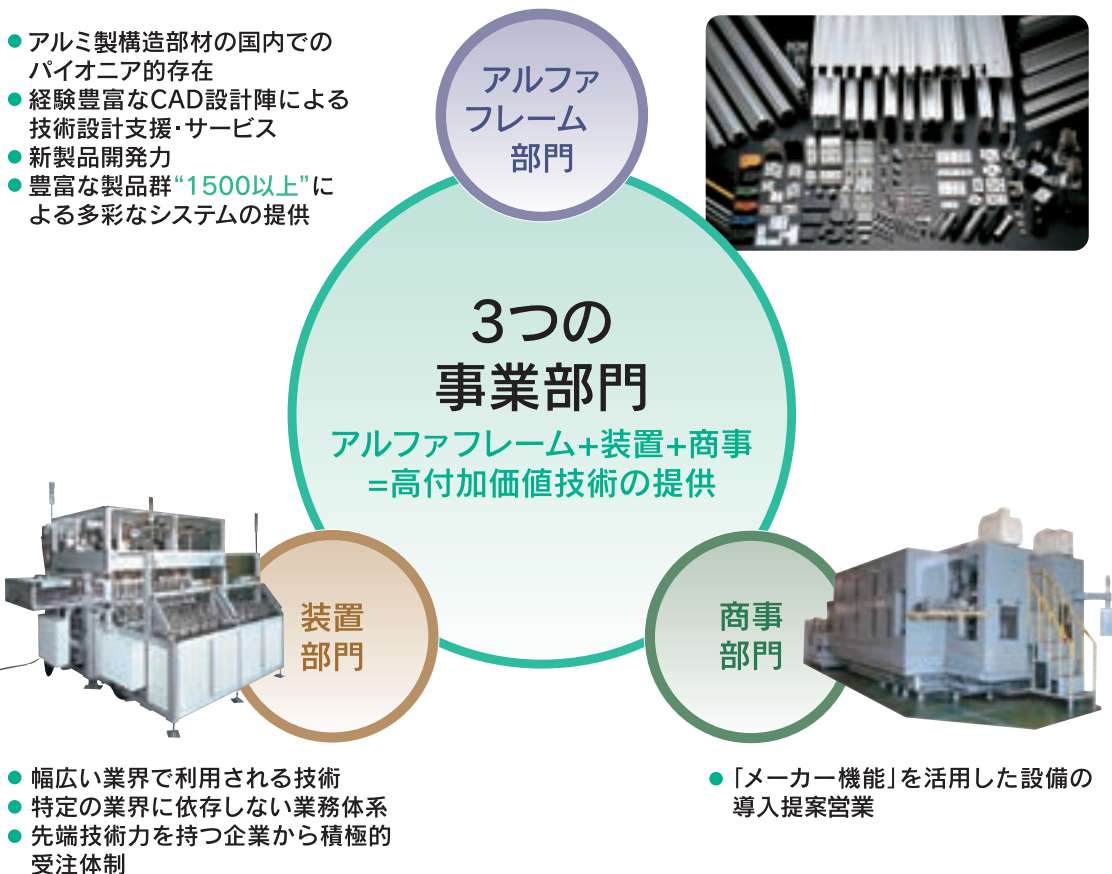
1株当たり純資産額



1株当たり当期純利益



当社は、地球環境に優しくリサイクル性に優れたアルミ構造体『商標名「ALFA FRAME® SYSTEM」(以下、アルファフレームシステムという。)]の開発・設計・製造・販売を行う「アルファフレーム部門」。アルファフレームの特徴を活かし、各種工場で使用される洗浄・検査・搬送・梱包等の自動化装置及び、クリーンルーム・ブース等の開発・設計・製造・販売を行う「装置部門」。上記2部門のメーカー機能を活用した設備導入提案営業及び工業生産財を取り扱う「商事部門」。これら3部門の相乗効果による高付加価値技術の提供を目的とした事業展開を行っております。



① アルファフレーム部門

ALFA FRAME® SYSTEM アルファフレームシステムの提案
 私たちは国内でいち早く、構造用アルミフレームを開発し
 フレームのシステム化を行う事により
 装置設計・製作の合理化・省力化に貢献してきました。
 装置メーカー自らの経験およびノウハウより誕生した
 “高性能”かつ“高品質”な
 アルミ構造体モジュール&システム。

アルファフレームの特徴

- 環境にやさしいリサイクル性
- 軽く強く美しい
- 急な設計変更や増設に対応
- 豊富な製品群“1500以上”
- 幅広い分野に対応

ALFA FRAME® SYSTEM



Automobile
自動車

Semiconductor / FPD / Clean
半導体・液晶・クリーン関係

Microelectronics / Machine
電子・精密機械

Pharmaceutical / Food
薬品・食品

■ 新商品1 高剛性フレーム H10タイプ

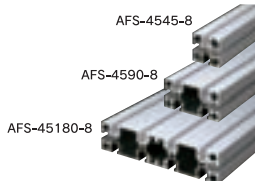
AFS-50100H-10



AFS-5050H-10 AFS-100100H-10



■ 新商品2 M8 45角シリーズ



■ 新商品3 デルタブラケット



■ 新商品4 新アクセサリ



■ 新商品5 ドアユニット



■ 新商品6 特殊フレーム製作



② 装置部門

半導体・電子・精密機械・医療・食品業界まで、あらゆる用途に応じた洗浄・検査・搬送・梱包等の自動化・省力化装置及びクリーンブース等の開発・設計・製造・販売を行っております。アルファフレームシステムを基本部材として使用することにより、製造の効率化や短納期化が可能となります。

また、仕様を規格化した製品だけでなく、生産ライン構築の個別ニーズに対応し、お客様の必要に応じた様々な製品開発も行っております。

トータルソリューションをご提案 NICのオーダーメイド開発

FA装置

(ファクトリーオートメーション)

- 洗浄装置
- 製造装置
- 搬送装置
- 検査装置



各種コンベア
Alfa Conveyor



クリーンワゴン
Clean Wagon



ボックス式洗浄装置
Box Type Washer



簡単組立式クリーンブース
Alfa Clean System

クリーン関係

- クリーンブース
- クリーンベンチ
- ミニエンバイロメント
- FFU・各種クリーン機器



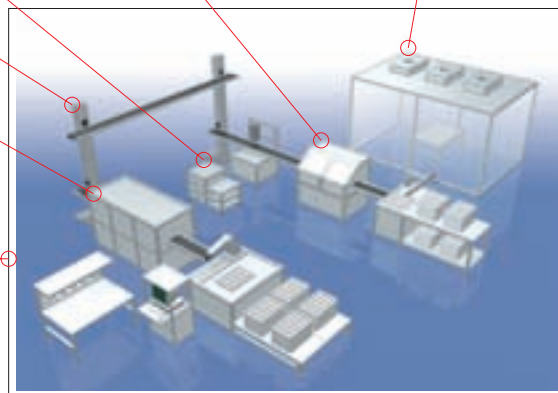
検査装置
Inspection device

工業製品 その他

- マシンカバー
- 作業台
- マシンベース
- 棚
- 収納ケース
- ストッカー



クリーンルーム
Clean Room



③ 商事部門

工業用砥石、工具・ツール等の消耗品と工場等の機械設備が主要な取扱商品であります。これらは、リピート受注が多いことが特徴となっており、メーカー機能を持った商事部門として、安定したビジネスを展開しております。

また、お客様のニーズに合わせ機械メーカーに注文し、当社装置部門が製作した自動搬送装置、洗浄機、検査装置を組み合わせ、最適なフルオートメーションラインを提供しております。



●工業用砥石



●油脂類



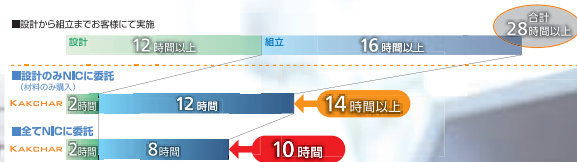
●工具・ツール



●機械設備

NEW 設計・組立サポートサービスKAKCHAR™(カクチャ)

当社ノウハウの蓄積とお客様からのご要望から、受発注を容易にし、納期を驚異的に短縮する世界初の受発注・設計・組立支援ソフトを開発いたしました。同時に、そのシステムを活用したサポートサービス（商品名「カクチャ™」）を利用した拡販プロジェクトの立ち上げにより、さらに当社サービス、ノウハウを広くご提供することができるようになりました。

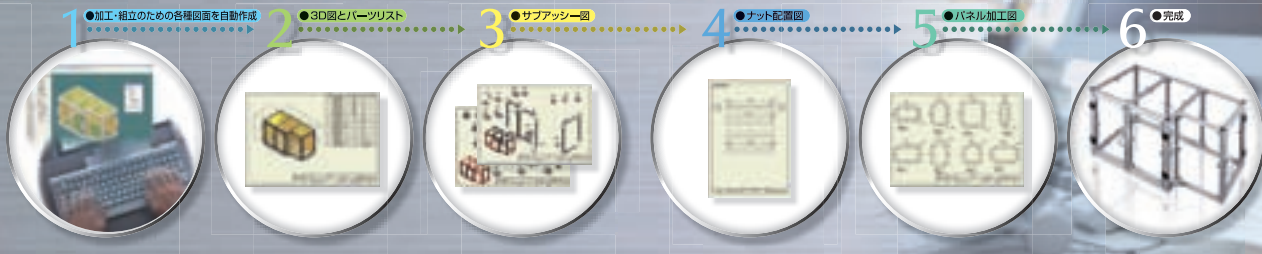


設計・組立サポートサービス
ALFA FRAME SYSTEM
KAKCHAR™

ご発注後、ただちに各種図面をご提供!

NIC販売サービスが設計サポート及び各種ドキュメントをご提供します。*1)

*1) 基本的構造設計、技術的な検討費、当社製品以外の部品は別途費用がかかる場合がございます。



損益計算書 (平成19年4月1日～平成20年3月31日)

(単位：千円)

科 目	金 額	
売 上 高		10,433,805
売 上 原 価		9,049,281
売 上 総 利 益		1,384,523
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		921,240
営 業 利 益		463,283
営 業 外 収 益		
受 取 利 息	36	
受 取 配 当 金	3,064	
賃 貸 料 収 入	1,286	
受 取 保 険 金	2,168	
仕 入 割 引	6,090	
そ の 他	3,238	15,884
営 業 外 費 用		
社 債 利 息	662	
賃 貸 費 用	646	
手 形 売 却 損	2,113	
そ の 他	339	3,760
経 常 利 益		475,407
特 別 利 益		
貸 倒 引 当 金 戻 入 益	145	
固 定 資 産 売 却 益	1,047	1,192
特 別 損 失		
固 定 資 産 除 却 損	426	
製 品 保 証 引 当 金 繰 入 額	1,845	
リ ー 入 解 約 損	156	2,428
税 引 前 当 期 純 利 益		474,171
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	225,336	
法 人 税 等 調 整 額	△ 19,181	206,155
当 期 純 利 益		268,016

株主資本等変動計算書 (平成19年4月1日～平成20年3月31日)

(単位：千円)

	株 主 資 本								自己株式	株主資本合計
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金			利益剰余金合計		
		資本準備金	資本剰余金合計		その他利益剰余金					
					別途積立金	繰越利益剰余金				
前 期 末 残 高	156,100	146,100	146,100	8,750	1,430,000	910,718	2,349,468	—	2,651,668	
当 期 変 動 額										
自己株式の取得			—				—	△ 34,410	△ 34,410	
剰余金の配当			—			△ 46,750	△ 46,750		△ 46,750	
当期純利益			—			268,016	268,016		268,016	
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)			—				—		—	
当期変動額合計	—	—	—	—	—	221,266	221,266	△ 34,410	186,855	
当 期 末 残 高	156,100	146,100	146,100	8,750	1,430,000	1,131,984	2,570,734	△ 34,410	2,838,524	

(単位：千円)

	評 価 ・ 換 算 差 額 等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
前 期 末 残 高	70,263	70,263	2,721,932
当 期 変 動 額			
自己株式の取得		—	△ 34,410
剰余金の配当		—	△ 46,750
当期純利益		—	268,016
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△ 39,865	△ 39,865	△ 39,865
当期変動額合計	△ 39,865	△ 39,865	146,990
当 期 末 残 高	30,398	30,398	2,868,922

会社の概要 (平成20年3月31日現在)

社名	エヌアイシ・オートテック株式会社 NIC Autotec, Inc.		
設立	昭和46年5月17日		
資本金	156,100千円		
従業員数	143名		
事業所	本社	〒930-0034	富山県富山市清水元町7番8号
	東京本社	〒135-0063	東京都江東区有明三丁目1番25号
	流杉工場	〒939-8032	富山県富山市流杉255番地
	立山工場	〒930-0272	富山県中新川郡立山町塚越398番176号
	技術開発センター	同上	
	関西作業場	〒578-0965	大阪府東大阪市本庄西二丁目4番29号

役員構成 (平成20年6月21日現在)

代表取締役社長	西川浩司
取締役副社長	西川武
取締役	土山邦夫
取締役	西尾謙夫
社外取締役	伊藤慈国
常勤監査役	藤島敏夫
社外監査役	土屋重義
社外監査役	白石康広

会計監査人

監査法人トーマツ 東京都港区芝浦四丁目13番23号

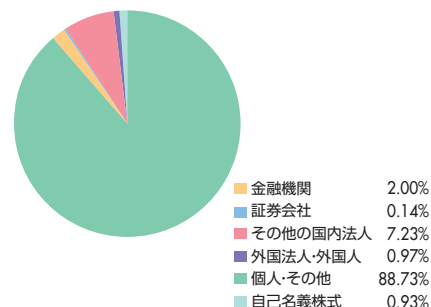
株式の状況 (平成20年3月31日現在)

- (1) 発行可能株式総数 200,000株
 (2) 発行済株式の総数 普通株式 55,000株 (自己株式511株含む)
 (3) 株主数 2,997名
 (4) 大株主の状況

株主名	持株数
西川浩司	36,923株
三協マテリアル株式会社	2,000株
エヌアイシ・オートテック従業員持株会	701株
ダイドー株式会社	700株
株式会社三井住友銀行	500株
西川武	500株

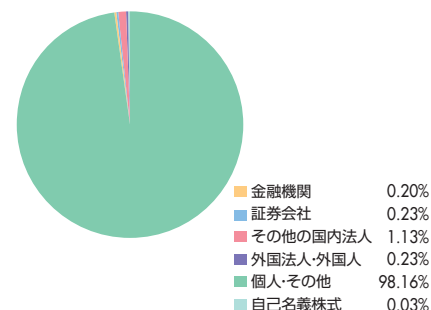
(5) 所有者別株主分布状況 (所有株式数)

所有者区分	株数	構成比率
金融機関	1,098株	2.00%
証券会社	78株	0.14%
その他の国内法人	3,978株	7.23%
外国法人・外国人	534株	0.97%
個人・その他	48,801株	88.73%
自己名義株式	511株	0.93%



(6) 所有者別株主分布状況 (株主数)

所有者区分	人数	構成比率
金融機関	6名	0.20%
証券会社	7名	0.23%
その他の国内法人	34名	1.13%
外国法人・外国人	7名	0.23%
個人・その他	2,942名	98.16%
自己名義株式	1名	0.03%



事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日までの1年
定時株主総会	毎年6月
株式名義書換	株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
	同事務取扱場所 東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
	(お問合せ先) 〒135-8722 東京都江東区佐賀一丁目17番7号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-288-324 (フリーダイヤル)
	同 取 次 所 みずほ信託銀行株式会社 全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店及び全国各支店
単元株式数	1株
公告方法	当社ホームページ (http://www.nic-inc.co.jp/) に掲載します。 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
上場証券取引所	ジャスダック証券取引所
証券コード	5742



エヌアイシ・オートテック株式会社

〒930-0034 富山県富山市清水元町7番8号

<http://www.nic-inc.co.jp/>